

学校だより



自立する子・「合い」ある子の育成 ～地域・学校・家庭をつなぐ～

かけはし

校訓

至誠・勤労・規律

令和6年1月28日

津幡町立井上小学校

TEL 288-8261

人権週間(12月4日～10日)は、自分を見つめ直す機会

校長 泉 和宏

12月10日は、「人権デー (Human Rights Day)」と定められています。それを受け12月4日～10日までは、人権週間となっており、毎年、関係機関や団体が全国的に人権啓発活動を強化して行っています。

子供たちには、いろんな問題にであった時、周りの友達に対して、自分以外の「誰か」とと捉えるのではなく、自分のこととして捉え、他を思いやって行動してほしいと思います。誰でもそうですが、困っている時に手を差し伸べてくれる人がいると、本当にありがたく感じるものです。学校ではこれまでも生活目標として7月「キラキラ見つけ」、11月「言葉づかいを見直そう」等で取り組んできました。今回の人権週間も自分を見つめ直すよい機会として子供たちには意識してほしいと思います。

また、他者を自分以外の「誰か」としてだけではなく、それぞれが大切な1人ということを知ることでも大切です。4年生は、総合的な学習の時間で、「井上小学校、津幡町は誰もが暮らしやすいか」を考え、障害の疑似体験や、視覚に障害がある方、肢体に障害がある方との交流を通して障害に対する自分の考えを広げたり、深めたりする学習をしています。いろんな人がいて、それぞれの思い、困り感があり、それを知ることによってそれぞれの存在がより尊く感じ、一人一人の助け合おうという意識が高まります。相手のことを知ることは、「思いやりの心」の一步となります。学校は他者との関わりの力を付ける場所でもあります。まずは自分の教室から始めてほしいと思います。

「大丈夫まかせて、私がするから」「わかったよ。終わるまで待っているよ」「ありがとう。困ってたんだよ」「みんな、最後まで話を聞こう」そんな思いやりのある言葉が飛び交うようになるといいですね。寒さがしだいに厳しくなるこの季節、一人一人が温かい気持ちで「充実の2学期」後半を過ごしてほしいと思います。

◆ ◆ ◆ お 知 ら せ ◆ ◆ ◆

「PTA 資源回収」

11月10日(日)気温20度と爽やかで心地よい風が吹く中、資源回収が行われました。中心となって準備していただいたPTA文化環境部や総務部、運動育成部の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



認知症の方との 接し方を学ぼう会

昨年に引き続き、4・5年生それぞれがボランティア活動を通して多くのことを学びました。その中でも特に大きな学びとなったのは、



「小学生であっても、人の役に立てる」「お世話する力が私たちにはある」「地域を支える一員である」という学びです。

左の写真は4年生が井上コミュニティで行われた「認知症を知り、どのように接していくことが大切なのか」ということを学んでいるところです。

お世話して下さった地域の皆さん・みかんの会の皆さん・町社会福祉協議会の皆さん、本当にありがとうございました。4年生は生きていくうえでとても大切なことを学ぶことができました。